## 令和5年度 事後評価シート

## 【事務事業シート(政策的経費)】

事務	事	業ミ	シー	- <b>ト</b> (	【政策的経費)】									
1 当初	1	事	項	いや	しの南予観光プ	□Ŧ−	・ション推進事業	費				予算:	主管課	観光国際課
	-	<del></del>	<del>***</del>	南予(	ハやし体験プログラ	ラムに加	え、きずな博で発	掘したE	BQなどの食、ユニ	ークス	テイやゲス	始	 治期	H29
		事 既	業	トハ	ウスといった宿の魁	むカをフ	゚ロモーションする	とともに	こ、伊予灘ものがた	りなどの	のコンテン			
	L	<b>Ι</b> ΛΙ	女	ツをシ	舌用した誘客促進に	こも取り	組む。					統	※期	R8
				南予	地域の観光客数									
				KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 J	 芰		R 8 年 度
	١.		_	時点・期間	R1年度	時点·期間	R 5年度	時点·期間	R 6年度	時点·期間	R7年度		時点·期間	R8年度
	<sup>k</sup>	Р	1			目標値	7314 千人	目標値	7461 千人	目標値	7608	千人	目標値	7755 千人
				現状値	7167 千人	実績値	6268 千人	実績値	千人	実績値		千人	実績値	千人
						達成率	85.70 %	達成率	%	達成率		%	達成率	%
	H					最終現計予算額	8,200 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額		千円	最終現計予算額	千円
					スト	決算額		決算額	-	決算額		千円	決算額	千円
	H				評価年度(「達成									
										は博の終	ママック	行支援の	終了により	つ県外及び県内観光客
							かったことが挙げら		10/200000	0113 0271	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
						J	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,							
		要[	因ケ	計析										
					総括(事業最終年	度の場合	合、要記入。)							
5														
年	L													
度									x善・大幅見直し(					
														食など南予の魅力を生
														への誘客の好機と考え
	   [	直原	しょ	5向性	維持									継続的に支援するのが
			<b>O</b> / .	31 312									-	こ1度の周年で実施する
					4	うR6年	=度に見直しており	、R7年	度は計画どおりキャ	ァンペー	・ンを実施す	る予定で	ある。	
6月	Ī	事	項	えひ	め周遊誘客促進	支援事						予算:	 主管課	観光国際課
補正								●の加速化		5. 県内外	 トの旅行会社	h/	 治期	R5
	1	_	業						マ交通機関の利用促進を			Ϋ́C	1 <del>八</del> 月	
	1	既	要	はの魁	力的な旅行商品」の造	成と催行	fを図り、本県への誘答	客を一層の	産進する。			終	以期	R5
				旅行	商品で周遊した	旅行者	 <b>i数</b>							
				KPI種別	上がると良い指標		 R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 J	 芰		R 8 年 度
				時点・期間	R4年度		R5年度	時点·期間		時点·期間			時点·期間	
	k	Р	Ι			目標値	12900 0	目標値	0	目標値		0	目標値	0
				現状値	_	実績値		実績値	0	実績値		0	実績値	0
				ののに		達成率		達成率	%	達成率		%	達成率	%
	F					<b>建</b> 及	170,540 千円	<b>建</b> 及	<sup>70</sup> 千円	最終現計予		<sup>%</sup> 千円	最終現計予算額	
				$\neg$	スト	算額	•	算額		算額				-
	-					決算額		決算額	千円	決算額		千円	決算額	千円
					評価年度(「達成率10アフターコロナにおけ		,	ル大事業	を実施 貸切バスや馬	はなって	たーを活田し	た国游プラ	いを企画し	催行した旅行事業者等を支
														ンティブを設けることで、
					本県への誘客を一層仮									
		亜	天子	分析										
		女	<b>四</b> 刀		総括(事業最終年)	きょう はっぱん	 - 亜記 1 )							
							,	<b>ロオナバ</b> 377	・ ベ320コーフを設定	定 催紀	※ケント・アロ	- 6404生	にトスかん	ど、アフターコロナに
							って十分機能したと して十分機能したと			C° IE1.		· O+011	にエのゆり	
5					(1)(人)(人)(人)(人)(人)(人)(人)(人)(人)(人)(人)(人)(人)	台州し	プローグ 1歳形のたと	_ 心ハノハ し	<b>ි</b>					
年度					ļ Ē	直し内	容の説明(維持・原	 発止・パ	 x善・大幅見直し(	事業組	 替等))			
及					, A		. 一	را سدد،		. J-VIZUILE	- 13/ /			
	5	直	した	5向性										

3	当初	事 項	在住	外国人向け石鎚	エリア	裙光促進事業費	(東予	•)			予算主	管課	観光国際課
		事業	石鎚	 エリアの強みである	5「自然		しと親和	 □性が高い「在住外	■人しる		始	期	R5
				エリアの魅力を発信							終.	——— 期	R6
			工会	コープを協行し		.从日 1 粉					7		
			<b>1山</b> KPI種別	<b>エリアを旅行し</b> だ 上がると良い指標		: <b>가凶人奴</b> 		 R 6 年 度		R 7 年 』	<del>+</del>		 R 8 年 度
			時点·期間	スパることで指標 R4~4年度		R5~5年度	時点,期間	R5~6年度	時点·期間	K / + /:	克 	時点·期間	T
		K P I	回(後・光色	八十二十八支	目標値		目標値		目標値		人	目標値	人
			現状値	   532	実績値		実績値		実績値		人	実績値	人
			况1人1但	332   人	達成率	1 1	達成率		達成率		%	達成率	%
					<b>建</b> 成 平 最終現計予	1,500 千円	<b>建</b>	<sup>70</sup> 千円	最終現計予		<u> </u>	最終現計予算額	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
			□	スト	<sup>算額</sup> 決算額	,	<sup>算額</sup> 決算額		<sup>算額</sup> 決算額		千円	決算額	千円
-				評価年度(「達成		,			八并识		111	八开识	111
	5 年	要因分		総括(事業最終年度	度の場合	合、要記入。)							
	度	見直しア	方向性	5	年度の	容の説明(維持・原 目標達成率は好調で 応じた石鎚エリアの	であり、	事業へ参加した在	住外国ノ	人の満足度も		から、引	き続き在住外国人の
4	当初	事項	地域	資源活用ユニー	クベニ	ユー推進事業費					予算主	管課	観光国際課
4	当初	事業	県内の	の歴史的・文化的建	造物等	を多面的に活用した	に新たな		くりや、	地域資源	予算主		観光国際課 R4
4	当初	事業	県内の		造物等	を多面的に活用した	に新たな		くりや、	地域資源		期	
4	当初	事業	県内の保証	の歴史的・文化的建	造物等 可能な	を多面的に活用した観光事業の普及・気	た新たな 定着を図		くりや、	地域資源	始	期	R4
4	当初	事業	県内の保証	の歴史的・文化的建 全に取り組み、持続 : <b>一クベニューを</b> :	造物等 記可能な <b>活用し</b>	を多面的に活用した観光事業の普及・気	た新たな 定着を図		くりや、	地域資源 R 7 年 1	始	期	R4
4	当初	事業 概要	県内の保証	の歴史的・文化的建 全に取り組み、持続 <b>クベニューを</b> :	造物等 記可能な <b>活用し</b>	を多面的に活用した 観光事業の普及・原 <b>た旅行商品造成</b> R 5 年 度	た新たな 定着を図	<b>図る。</b>	ら く り や 、		始	期	R4 R5 R 8 年 度
4	当初	事業	県内(の保全 の保全 ユニ KPI種別	の歴史的・文化的建 全に取り組み、持続 <b>ークベニューを</b> 上がると良い指標	き造物等 記可能な <b>活用し</b>	を多面的に活用した 観光事業の普及・原 <b>た旅行商品造成</b> R 5 年 度	た新たた 定着を図 件数	図る。 R 6 年 度			始	期期	R4 R5 R 8 年 度
4	当初	事業 概要	県内(の保全 の保全 ユニ KPI種別	の歴史的・文化的建 全に取り組み、持続 <b>ークベニューを</b> 上がると良い指標	造物等 可能な <b>活用し</b>	を多面的に活用した 観光事業の普及・原 た旅行商品造成の R 5 年 度 R 5年度 3 件	に新たた 定着を図 件数	R 6 年 度 件	時点·期間		始: 終: <u></u>	期 期 時点·期間	R4 R5 R 8 年 度
4	当初	事業 概要	県内の の保金 ユニ KPI種別 時点・期間	の歴史的・文化的建全に取り組み、持続 一 <b>クベニューを</b> 上がると良い指標 R4年度	造物等 可能な <b>活用し</b> <sub>時点・期間</sub> 目標値	を多面的に活用した 観光事業の普及・原 た旅行商品造成 R 5 年 度 R 5年度 3 件 1 件	た新たた 定着を図 件数 <sub>時点・期間</sub> 目標値	R 6 年 度 件 件	時点·期間 目標値		始 終 <b>建</b>	期 明 時点·期間 目標値	R4 R5 R 8 年 度 件
4	当初	事業 概要	県内の の保金 スー KPI種別 時点・期間 現状値	の歴史的・文化的建全に取り組み、持続 一 <b>クベニューを</b> 上がると良い指標 R4年度 0 件	造物等 可能な <b>活用し</b> 時点・期間 目標値 実績値	を多面的に活用した 観光事業の普及・原 た旅行商品造成の R 5 年 度 R 5年度 3 件 1 件	こ新たた 定着を図 件数 時点・期間 目標値 実績値	R 6 年 度 件 件	時点·期間 目標値 実績値		数 終 <b>在</b> <b>件</b>	期 時点·期間 目標値 実績値	R4 R5 R 8 年 度 件 件
4	当初	事業 概要	県内の の保金 ユニ KPI種別 時点・期間	の歴史的・文化的建全に取り組み、持続 <b>一クベニューを</b> 上がると良い指標 R4年度 0 件	造物等 可能な <b>活用し</b> 時点・期間 目標値 実績値 達成率	を多面的に活用した 観光事業の普及・ た旅行商品造成 R 5 年 度 R 5年度 3 件 1 件 33.33 % 9,863 千円	こ新たた 定着を図 件数 時点・期間 目標値 実績値 達成率 最終現計予	R 6 年 度	時点·期間 目標値 実績値 達成率 最終現計予		要 件 件 %	期 時点·期間 目標値 実績値 達成率	R4 R5 R 8 年度 件 件 件
4	当初 5 年	事業 概要	県の保 ・	の歴史的・文化的建全に取り組み、持続 一クベニューを注上がると良い指標 R4年度  の 件  スト 評価年度に公募・選択は、ターゲットの選なった。 総括(事業最終年度の場とは、会におけるにおける足がか	造可 <b>活</b> 時 時 時 長 達 最 決 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第	を多面的に活用した 観光事業の普及・第 た旅行商品造成 R 5 年 度 R 5年度 3 件 1 件 33.33 % 9,863 千円 7,531 千円 満」の場合、要記入 ニークベニューモデュニークベニューのが	た ま 大 大 た を は は は は は は は は は は は は は	R 6 年 度	時点・期間 目標値 実 達 様 漢 漢 漢 第 算 額	R 7 年 が 計画したモデ 討する必要が る必要があり旅行 5 必要があり旅行 5 について	度 件 件 % 千円 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	期期時点・期間時点・期間を持続を持続を持続を持続を持続を持続を持続を持続した。これをはいる。これをはい	R4 R5 R 8 年 度 件 件 件 % 千円

	事 項	愛媛	DMO活動事業	費						予算主	注管課	観光国際課
	事業	競争	力の高い魅力ある観	光地域	づくりを推進する	ため、県	!観光物産協会を核	に設立した	愛媛	始	————— 期	H23
	概要	DMO	において、関係機関	関との過	連携のもと、国内外	での誘	客活動を強力に推進	重し、地域か	が儲か	 終	#p	R6
			光の確立を目指す。							<b>ボ</b> ミ	· 共力	KO
		県観	光振興関与額									
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度	R	7 年 月	芰		R 8 年 度
	KPI	時点・期間	R 3年度	時点·期間	R 5年度	時点·期間	R 6 年度	時点·期間			時点·期間	
				目標値	4 <mark>億円</mark>	目標値	5.5 <mark>億円</mark>	目標値		億円	目標値	<mark>億円</mark>
		現状値	3.5 億円	実績値	R6.9頃判明 <mark>億円</mark>	実績値	億円	実績値		億円	実績値	億円
				達成率	- %	達成率	%	達成率		%	達成率	%
			7 6	最終現計予 算額	72,688 千円	最終現計予 算額	千円	最終現計予 算額		千円	最終現計予算額	千円
			スト	決算額	69,299 千円	決算額	千円	決算額		千円	決算額	千円
5 年					•							
度	見直した	5向性	54	年度のほ	容の説明(維持・原成果が現時点で不明 売し、売り上げも地	である	ため、成果確認です	き次第記載う	予定愛媛			旅行商品の造成や 。
			5 <sup>4</sup> 産	宇度の!!	成果が現時点で不明 売し、売り上げも <sup>は</sup>	である	ため、成果確認です	き次第記載う	予定愛媛	けて取り組		
	事項	松山	5 <sup>2</sup> 産 維持	主度の思品を販	成果が現時点で不明 売し、売り上げも増 <b>、ス強化事業費</b>	かんて からい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい	ため、成果確認でき	き次第記載うて、同目標	予定愛媛値に向け	けて取り組	lんでいく E管課	0
	事項事業	<b>松山</b> 松山	54 産 維持 <b>空港エアポート</b>	F度の!! 品を販 <b>セール</b> 用拡大	成果が現時点で不明 売し、売り上げも <sup>は</sup> <b>、ス強化事業費</b> に向け、エアポ	かんて からい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい	ため、成果確認でき	き次第記載うて、同目標	予定愛媛値に向け	予算主	lんでいく E管課 期	観光国際課

6 当初	事 項	松山	空港エアポート	セール	ス強化事業費					予算主	管課	観光国際課
	事業	松山	空港の更なる利	用拡大	に向け、エアポ	ートセ	ールス専門スタ	ッフを	配置し、	始	期	R2
	概要	セー	ルス活動の強化	・充実	を図る。					終	期	R6
		松山	空港発着の国内	線運航	.便数							
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 I	芰		R 8 年 度
	K P I	時点・期間	R4年度	時点·期間	R5年度	時点·期間	R6年度	時点·期間			時点·期間	
				目標値	36 <mark>便</mark>	目標値	37 <mark>便</mark>	目標値		便	目標値	便
		現状値	35 便	実績値	35 <mark>便</mark>	実績値	便	実績値		便	実績値	便
				達成率	97.22 %	達成率	%	達成率		%	達成率	%
			スト	最終現計予 算額	7,543 千円	最終現計予 算額	千円	最終現計予 算額		千円	最終現計予算額	千円
		7	X 1	決算額	7,543 <mark>千円</mark>	決算額	千円	決算額		千円	決算額	千円
5 年	要因		総括(事業最終年)	度の場合	合、要記入。)							
度	見直し	方向性	6	年度も		KPIの	向上の余地はあるこ	ことから	5、執行方法			ていない。なお、6年 引き継ぐこととする。

7 当初	事 項	松山	空港国内線利用	足進事	業費					予算主	管課	観光国際課	Į
	事 業	松山	空港国内線の路線	泉網の	充実を図るため、	、官民	一体となった取	組みを	展開す	始	期	H3	
	概要	る。								終	期		
		松山	空港国内線利用	<b>首数</b>									
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 5	芰		R 8 年 度	
	KPI	時点・期間	R4年度	時点·期間	R 5年度	時点·期間	R6年度	時点·期間	R7年度		時点·期間	R8年度	
				目標値	286 <mark>万人</mark>	目標値	302 <mark>万人</mark>	目標値	307	万人	目標値	313	万人
		現状値	220 万人	実績値	266 <mark>万人</mark>	実績値	万人	実績値		万人	実績値		万人
				達成率	93.01 %	達成率	%	達成率		%	達成率		%
			スト	最終現計予 算額	3,010 千円	最終現計予 算額	千円	最終現計予 算額		千円	最終現計予算額		千円
		_	A F	決算額	3,010 <u>千円</u>	決算額	千円	決算額		千円	決算額		千円
5 年	要因分	祈	ロナ禍前の利用者数の 者数を記録した。 総括(事業最終年度)			·····································		が事月が水(つ	此元 <b>ज</b> 称(C -	701 CIA	그니 / 케미큐!	JVK/L+I交で」	_凹るがJ/H
度	見直し方	5向性	航	空会社	容の説明(維持・原の意見を踏まえなた すると考えられるこ	がら、ゟ	アーゲット路線、タ	ーゲッ	ト層を設定し				、KPIは

当初	事 項	松山	空港地域活性化	基盤施	設整備事業費					予算:	主管課	観光国際課	-
	事 業	松山	空港と周辺地域の	の調和な	ある発展を図る	ため、	生活基盤施設の	整備に	要する経	始	期	H5	
	概要	費に	対して補助する。	•						終	·期	-	
		空港	周辺地域の人口										
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 B	<b></b>		R 8 年 度	
	KPI	時点・期間	R5.4時点	時点·期間	R5年度	時点·期間	R 6年度	時点·期間	R 7年度		時点·期間	R8年度	
				目標値	30737 <mark>人</mark>	目標値	30737 人	目標値	30737	人	目標値	30737	人
		現状値	30556 人	実績値	30369 人	実績値	人	実績値		人	実績値		人
				達成率	98.80 %	達成率	%	達成率		%	達成率		%
			7 1	最終現計予 算額	100,000 千円	最終現計予 算額	千円	最終現計予 算額		千円	最終現計予算額		千円
			スト	決算額	61,776 千円	決算額	千円	決算額		千円	決算額		千円
			令和5年度から6年 を達成することはで	度にかけ		口減少	率が約△0.83%だった 少の影響を受けながら						
5 年	要因分	分析	令和5年度から6年	度にかけ きなかっ	ての松山市全域の人 たが、松山市全域の	口減少							

9 当初	事项	松山	J空港特定国内線 <b>浏</b>	舌性化	等支援事業費					予算主	三管課	観光国際課
	事業	感望	い い い い れ た の 航 空 需 り	要を喚	起するため、松口	山空港	国内線の利用の流	舌性化	を図ると	始	期	R4
	概要	<b>見とも</b>	うに、新規路線誘致	数を見	据えたニーズ調査	査等を	行う。			終	期	R8
		特定	≧航空路線(札幌、	仙台	、成田)の運航	路線数	l .					
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 原	支		R 8 年 度
	K P	時点・期間	R4年度	時点·期間	R 5年度	時点·期間		時点·期間			時点·期間	
				目標値	3 <mark>路線数</mark>	目標値	2 <mark>路線数</mark>	目標値	3	路線数	目標値	3 <mark>路線数</mark>
		現状値	3 路線数	実績値	1 <mark>路線数</mark>	実績値	路線数	実績値		路線数	実績値	路線数
				達成率	33.33 %	達成率	%	達成率		%	達成率	%
		_	1 スト	最終現計予 算額	6,375 千円	最終現計予 算額	千円	最終現計予 算額		千円	最終現計予算額	千円
				決算額	6,375 <mark>千円</mark>	決算額	千円	決算額		千円	決算額	千円
5 年 度		,方向性	総括(事業最終年度の場合 札幌線、仙台線の再開に同地・旅情報の案内を行ったい、本県の希望は受け止め 見令 開	上幌線、 会、要記が さいたが さいたが 直 和 6 年)	仙台線は運航再開 へ。) 重醸成、需要拡大を図るため 松山空港等で県民アンク さいたところ。令和6年度 容の説明(維持・原 度はエアポートセー	に至ら か、北海 「一トを行 E以降も引 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	なかった。 道、宮城県で当県認知度で い(就航希望先1位: 札幌 はき続き、運航再開に向け、 双善・大幅見直し( で で で で で で で で が の で が の で が の で が の で が に が の に が の に が に が に が に の に の に の は り に の に の に の に の に の に の に の に の に の に	向上を目指 県、2位: 機運醸が 事業組替 <b>・</b>	音し、大手百貨店 仙台)、そのA 対やエアポートt <b>季等))</b> ・新規就航を	きでの物販や き果や当県の マールスを行	テレビ局・5 活動等を含め う。 た <b>予</b> 算に	接し、路線として安定  ラジオ局と連携した愛媛の観光  がたエアポートセールスを行  編成し直し、運航再  くこととしている。

10	当初	事 項	歴史	!文化資源魅力発	信強化	事業費(東予)					予算主	上管課	観光国際課	
		事業	東予	地域の歴史文化	資源の	魅力を発信し、	シビッ	クプライドを醸	成する	ことによ	始	期	R4	
		概要	り、	交流人口の拡大	や地域	活性化に繋げる	0				終	期	R6	
	,		東予	地域の歴史文化	資源活	用イベントの参	加者数	Į.						
			KPI種別	上がると良い指標	Ę	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 月	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		R 8 年 度	
		K P I	時点・期間・	R4年度	時点·期間	R5年度	時点·期間	R6年度	時点·期間			時点·期間		
		K P J			目標値	500 人	目標値	1000 人	目標値		人	目標値	人	
			現状値	287 人	実績値	706 人	実績値	人	実績値		人	実績値	人	
					達成率	141.20 %	達成率	%	達成率		%	達成率	%	
				7 6	最終現計予 算額	1,250 千円	最終現計予 算額	千円	最終現計予 算額		千円	最終現計予算額	千円	
				スト	決算額	1,250 千円	決算額	千円	決算額		千円	決算額	千円	
	5 年	要因	分析	総括(事業最終年		合、要記入。) 容の説明(維持・原	≿ı⊦.⊐	拉美,一种目访! (	車業知志	<b>未卒))</b>				
	度	見直し	方向性	į	5年度の						正企業との	連携によ	り関係者を拡大し、	更

ا ہ	当初	由	項	州市		上海兴						マケナ	- <i>5</i> 5=⊞	58117 [五] [数章田
, T		尹	垬	小沙生	観光情報発信拠点	<b>不烂</b> 舌	<b>宇</b> 术貝					予算主 		観光国際課
		事	業	  ラ71	め愛顔の観光物層	全館で	維持管理等を行	<b>5</b> .				始	朝 ————	H24
		概	要		<b>でう交</b> 形質でクEルプロ 1/7/15	土以口でス		<b>ノ</b> 。				終	朝	
	-			「え	 ひめ愛顔の観光 <b>物</b>	勿産館	 门 の購入者数							
				KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		 R 6 年 度		R 7 年 』	 <del></del>		 R 8 年 度
				時点・期間	R4年度	時点·期間		時点·期間	R6年度	時点·期間	R7年度		時点·期間	R8年度
		K F	PI			目標値		目標値	98000 人	目標値		,	目標値	102000 人
				現状値	94319 人	実績値		実績値		実績値		人	実績値	人
				JU IVIIE	71313 )	達成率		達成率	%	達成率		%	達成率	%
	-					最終現計予	8,231 千円	最終現計予	<u>///</u> 千円	最終現計予		<u>///</u> 千円	最終現計予算額	
				□	スト	<sup>算額</sup> 決算額		<sup>算額</sup> 決算額	千円	<sup>算額</sup> 決算額		千円	決算額	千円
-					亚体在 ( 1) 表出的		,			<b>次异</b> 积		113	<b>次异</b> 积	713
					評価年度(「達成3	<u>~</u> 1009	0木冲」の場合、安	記人。)						
		a	图分	<b>∠</b> +⊏										
		<del>5</del>	マロノ		総括(事業最終年度	きの場合	シー 要記 λ ()							
						20 <i>7-7</i> 71	1、安配八。)							
	_													
	5 年													
	度				見	直し内	容の説明(維持・原	を止・改	 ෭善・大幅見直し(§	事業組	 <b></b>			
	152				細	施策KO	SIとの相関関係も高	5< 、 6	年度も目標値以上の	の成果は	う上が見込ま	れること	から、7:	年度はKPI目標値引上
					げ	を図る	0							
		見直	10万	方向性	改善改善									
L				•										
	2月 補正	事	項	空港	周辺住宅騒音防」	上対策	費					予算主	管課	観光国際課
	LHHTT	事	業	国の	住宅騒音防止対策	<b></b>	の対象となって	いる住	宅について、防	音や屋	内環境の	始	期	S50
		概	要	  維持	を図るため、空気	<b></b>	機等の整備に対	して補	助する。			————— 終	———— 朝	_
					業による住宅騒									
				KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 5	<b>芰</b> ————		R 8 年 度
		K F	ΡI	時点・期間	R4年度	時点·期間	R5年度	時点·期間	R6年度		R7年度		時点·期間	R8年度
						目標値	100 <mark>%</mark>	目標値	100 <mark>%</mark>	目標値	100	%	目標値	100 <mark>%</mark>
				現状値	100 %	実績値	100 <mark>%</mark>	実績値	%	実績値		%	実績値	%
						達成率	100.00 %	達成率	%	達成率		%	達成率	%
					スト	最終現計予 算額	2,359 千円	最終現計予 算額	千円	最終現計予 算額		千円	最終現計予算額	千円
					A F	決算額	968 千円	決算額	千円	決算額		千円	決算額	千円
					評価年度(「達成率	× 1009	6未満」の場合、要	記入。)						
		要	を図る	分析										
					総括(事業最終年度	度の場合	今、要記入。)							
	5													
	年							_						
	度				見	直し内	容の説明(維持・原	ち・山幹	「善・大幅見直し(基本) 「「「一」」 「「一」」 「「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「	事業組	<b>替等))</b>			

5年度のKPIの実績は想定どおりの成果が出ており、国の住宅騒音防止対策事業に基づき実施している事業趣旨を

踏まえると、KPIは目標達成すると考えられることから、6年度の執行方法や7年度予算の見直しは想定していな

い。

維持

見直し方向性

13	当初	事	項	空港	整備直轄	事業負担	旦金								予算主	管課	観光国際課	
		事	業	松山	空港整備の	の当該年	<b>王度事</b>	業費に対	して負	<u></u> 担する	0				始	期	S58	
		概	要												終	期		
				松山	空港の就	抗率												
				KPI種別	上がると良	い指標		R 5 年 月	芰		R 6 年 度	Ž		R 7 年 5	芰		R 8 年 度	
		K F	э т	時点・期間	R5.12	時点	時点·期間	R 5年度		時点·期間	R 6年度		時点·期間	R 7年度		時点·期間	R8年度	
		IX I	1				目標値	100	%	目標値	100	%	目標値	100	%	目標値	100	%
				現状値	100	%	実績値	100	%	実績値		%	実績値		%	実績値		%
							達成率	100.00	%	達成率		%	達成率		%	達成率		%
					スト		最終現計予 算額	160,020	千円	最終現計予 算額		千円	最終現計予 算額		千円	最終現計予算額		千円
					<b>X</b>		決算額	106,957	千円	決算額		千円	決算額		千円	決算額		千円
	5 年	要	医分		総括(事業				, 									
	度	見直	直し方	5向性	維持	年	度のKP	YIの実績は	想定どお	いの成		り、6年	F度以降				KPIは目標道	直成する
14	当初	事	項	総合	<b>観光プロ</b>	Eーショ	ョン推	進事業費	, ,						予算主	管課	観光国際課	 [

L4	約	事	項	総合	 観光プロモーシ:	ョン推							 E管課	観光国際課	
		事	業						ョンを展開するほか、			始	期	R4	
		概	要				会在を活用した値沿が 合的なプロモーション		促進により、旅行者 <sup>/</sup> する。	へのリー	ーナル・り旅行・	終	期	R9	
				新た	に造成した宿泊	プラン	の年間利用者数								
				KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度	Ž		R 8 年 度	
		K	ΡI	時点・期間	R4年度	時点·期間	R5年度	時点·期間	R6年度	時点·期間	R7年度		時点·期間	R8年度	
			. 1			目標値	40578 <mark>人泊</mark>	目標値	43078 <mark>人泊</mark>	目標値	45578	人泊	目標値	48078	人泊
				現状値	38078 人泊	実績値	47850 <mark>人泊</mark>	実績値	人泊	実績値		人泊	実績値		人泊
						達成率	117.92 %	達成率	%	達成率		%	達成率		%
					スト	最終現計予 算額	64,686 千円	最終現計予 算額	千円	最終現計予 算額		千円	最終現計予算額		千円
					^ r	決算額	64,535 千円	決算額	千円	決算額		千円	決算額	:	千円
	5 年 <u></u>	要	要因分		総括(事業最終年月										
	度	見画	重し方	5向性	5	年度の	KPIの実績はKPI以	上の成績	₹善・大幅見直し(₹ まが出ており、6年 お方法や7年度予算の	度以降	も現状の二-		ミえると、	KPIは目標達成	成すると

15	当初	事項	観光	:振興事業費									予算主	管課	観光国際課
		事業	第3期	]愛媛県観光振興基本	計画に基	基づき、観光	振興に関	する施	策の総合的力	つ計画的	りな推進	を図り、目	始	———— 期	H13
		概要	標達原	成に向けた検討を行う。 マケギな、トラトラ						吏)」の	設置・選	営や、県内		 钳	
				コケ誘致、レストラ:							r <del>T</del> #L		<i>π</i> <:	74J	
				法與施策の検討				谷の兄			<b>貝</b> 欽				
				上がると良い指標		R 5 年 图	芰		R 6 年 度	Ę		R 7 年 5	<b>芰</b>		R 8 年 度
		K P	時点・期間	R5年度		R5年度	<b>-</b>		R6年度	<del></del>		R7年度	<del></del>		R8年度
					目標値		事項	目標値	3	事項	目標値	3	事項	目標値	3 事項
			現状値	2 事項	実績値	2	事項	実績値		事項	実績値		事項	実績値	事項
					達成率		%	達成率		%	達成率		%	達成率	%
			_	スト	最終現計予 算額	16,222	千円	最終現計予 算額		千円	最終現計予 算額		千円	最終現計予算額	千円
					決算額	15,715	千円	決算額		千円	決算額		千円	決算額	千円
	5 年	要因	分析	き、ターゲットす 総括(事業最終年	リング る国や 度の場合	周査と分析を 国内エリアを 合、要記入。	を業者に を選定す . )	委託し ること	た結果、周ができた。				内旅行者の	の観光状刻	兄を把握することがで
	度	見直し	方向性	Ŝ		容の説明( 光振興基本							旅行者等か	らのヒア	リング調査を行なって
16	当初	事項	観光	連携推進事業費	i								予算主	 E管課	観光国際課
													440	Hn	662

L7 当初	事	項 <b>1</b>	観光	集客力向	上支援	事業費								予算主管課		観光国際課	, E
		業	観光	関係団体や民間事業者自らが行う地域資源を活用した持続的な観光客の増加									始期		H23		
		要(	に寄与する新たな取組みに対して補助する。								終期						
		1	事業により集客数が向上した観光事業者割合														
		k	〈PI種別	上がると良	しい指標	指標 R 5 年 度		R 6 年 度			R 7 年 度			R 8 年 度			
	КР		寺点・期間	R 4年	-度	時点·期間	R 5年度	•	時点·期間	R6年度		時点·期間	R7年度		時点·期間	R8年度	
				78 %		目標値	100	%	目標値	100	%	目標値	100	%	目標値	100	%
		現	現状値		実績値	91.3	%	実績値		%	実績値		%	実績値		%	
						達成率	91.30	%	達成率		%	達成率		%	達成率		%
		_		1 ス ト		最終現計予 算額	20,075	千円	最終現計予 算額		千円	最終現計予 算額		千円	最終現計予算額		千円
	1					決算額	19,060	千円	決算額		千円	決算額		千円	決算額		千円
5 年	要因分析		析	採択された事業者の積極的な取組みにより、目標は達成することはできなかったが、令和4年度比より増加することができた。新型コロナウイルスの影響により、集客力が予想より見込めることができなかったと考えている。 総括(事業最終年度の場合、要記入。)													
度	見直し方向性			見直し内容の説明(維持・廃止・改善・大幅見直し(事業組替等)) 当事業で採択された観光関係団体や民間企業者は、地域資源を活用し、新たな観光資源の創出として県外観光客や 訪日外国人の集客力向上につながる事業を行なっていると考えられるため、KPI目標値は、現状維持で進めてい く。													

18	当初	事 項	観光	D X 推進事	業費		予算主管課		観光国際課							
		事業		りかつ効率的を サイト関監履			始期		R4							
		概要		Bサイト閲覧履歴データを集約・分析できる基盤を構築し、分析結果に基づいた広告配信 終期 R8 R8												
			県事	事業における観光分析データの活用件数 												
			KPI種別	上がると良い	\指標				R 6 年 度	R 7 年 度			R 8 年 度			
		KPI	時点・期間	R 4年度	麦	時点·期間	R 5年度	時点·期間	R6年度	時点·期間	R7年度		時点·期間	R8年度		
					件	目標値	30 <mark>件</mark>	目標値	30 <mark>件</mark>	目標値	30	件	目標値	30 <mark>件</mark>		
			現状値	0		実績値	フ <mark>件</mark>	実績値	件	実績値		件	実績値	件		
						達成率	23.33 %	達成率	%	達成率		%	達成率	%		
				スト		最終現計予 算額	32,333 千円	最終現計予 算額	千円	最終現計予 算額		千円	最終現計予算額	千円		
						決算額	32,330 千円	決算額	千円	決算額		千円	決算額	千円		
	5 年	要因分	祈	愛媛観光DMPを構築して2年目を迎え、国内旅行者や訪日外国人に関する位置情報データ等をシステムで可視化できる状態にしたものの、愛媛観光DMPを閲覧できるアカウント数が限られたため、データの活用件数を増やすことができなかったと考えている。 総括(事業最終年度の場合、要記入。)												
度	度	見直し方向性		維持	ŧ	県の担 に。委	当職員をはじめ、勧	見光物産		物産協会	会などに愛媛			会を増やしていくとと 限の観光分析データを		